

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 ＜地域の医療関係機関、介護事業所等の住所・連絡先、機能等を把握し、これまでに市等が把握している情報と合わせて、地域の医療・介護関係者と共有する＞	○リストの作成 ・平成 27 年 11 月中旬～ 各関係機関へアンケートを発送 ・平成 28 年 2 月 リスト作成 ・郡市医師会連携拠点にリストを提供 →情報の公開には至らず ○社会資源把握支援システム導入 社会資源把握支援システム(けあプロ NAVI)を導入。令和 3 年 12 月より久喜市 HP にて公開（介護事業所から情報公開） ○令和 4 年 11 月・12 月にかけて、再調査を行い、社会資源について周知を行う。 【病院・診療所】 調査 74 件中 回答 52 件（70%）公開不同意 7 件 【歯科】 調査 95 件中 回答 57 件（60%）公開不同意 1 件 【薬局】 調査 63 件中 回答 52 件（83%）公開不同意 2 件 ○令和 5 年 11 月・12 月にかけて、再調査を行い、社会資源について周知を行う。 【病院・診療所】 調査 72 件中 回答 49 件（68%） 【歯科】 調査 93 件中 回答 62 件（67%） 【薬局】 調査 60 件中 回答 47 件（78%） ○令和 6 年 11 月・12 月にかけて、再調査を行い、社会資源について周知を行う。 【病院・診療所】 調査 73 件中 回答 49 件（67%） 【歯科】 調査 94 件中 回答 58 件（62%） 【薬局】 調査 61 件中 回答 55 件（90%） ◎令和 7 年 3 月 31 で、「けあプロ navi 久喜」の公開を終了。	○市内の医療機関、薬局、地域資源等の調査を進めた結果、全国にある医療機関や薬局を場所や診療科目・時間などさまざまな条件から、検索することができる「医療情報ネット」を紹介する。 【URL】 https://www.iryoku.teikyouseido.mhlw.go.jp	今後は、医療機関・薬局の公的検索システム「医療情報ネット」をご案内していきます URL: https://www.iryoku.teikyouseido.mhlw.go.jp 「全国どこからでも、どんなときも、かかりたい医療機関・薬局が見つかります！」を利用していただくよう周知しています。 ・「介護サービス情報公表システム」をご案内していきます URL: https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/readme ・市のホームページにも「久喜市介護サービス事業所一覧」「久喜市総合事業サービス事業所一覧」を掲載しております また、「介護保険サービスガイド（2025 年度版）」という冊子をホームページにも掲載しているほか、必要な方には窓口等で配布しています。 「介護保険サービスガイド（2025 年度版）」 https://machiro.town/viewers/168528#book/32

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ＜地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・会議を実施し、在宅医療・介護連携の現状の把握と課題の抽出、対応策等の検討を行う＞	○久喜市在宅医療・介護連携推進会議 <u>平成 28 年度</u> ・平成 28 年 5 月 20 日（金） 久喜市在宅医療・介護連携推進会議設置 ・第 1 回 平成 28 年 5 月 20 日（金） ・第 2 回 平成 28 年 8 月 23 日（火） ・第 3 回 平成 29 年 2 月 6 日（月） 在宅医療・介護連携の現状と課題について 医療関係者・介護関係者の研修について フォーラムについて 平成 29 年度の事業の取組みについて <u>平成 29 年度</u> ・第 1 回 平成 29 年 7 月 3 日（月） ・第 2 回 平成 29 年 11 月 10 日（金） ・第 3 回 平成 30 年 3 月 6 日（火） 事業の取組みと課題等について 在宅医療・介護関係者の研修会について 医療・介護関係者の情報共有の支援について <u>平成 30 年度</u> ・第 1 回 平成 30 年 7 月 3 日（火） ・第 2 回 平成 30 年 11 月 9 日（金） ・第 3 回 平成 31 年 3 月 25 日（月） 事業の取組みと課題等について 在宅医療・介護連携のケアパスについて 在宅医療・介護関係者の研修会について 事業業務委託の状況報告 <u>令和元年度</u> ・第 1 回 令和元年 7 月 8 日（月） ・第 2 回 平成元年 11 月 15 日（金） ・第 3 回 令和 2 年 3 月 13 日（金）に予定されていたが、新型コロナウイルス拡大防止のため中止（書面のみ通知） 事業の取組みと課題等について 在宅医療・介護連携のケアパスについて 在宅医療・介護関係者の研修会について 事業業務委託の状況報告 <u>令和 2 年度</u> ・第 1 回 令和 3 年 1 月（書面開催）開催 事業の取組と課題等について コロナ禍における医療・介護連携に関するアンケート調査について 入退院支援ルール作成について <u>令和 3 年度</u> - 令和 2 年度実施のコロナ禍における医療・介護連携に関するアンケート調査の結果を久喜市 HP にて公開 <u>令和 4 年度</u>	○在宅医療・介護連携の現状における課題の把握 ○コロナ禍における在宅医療・介護連携の課題の把握及び対応策について ○コロナ禍における在宅医療・介護連携推進会議・研修の在り方についての検討。 ●コロナも 5 類に移り、制限がなくなったため、通常開催ができるようになった。ただ、感染症に対する対応は必要であり、課題である。	○令和 7 年度 会議 2 回 ・第 1 回 令和 7 年 8 月 22 日（金） ・第 2 回 令和 8 年 1 月頃を予定 研修会 1 回 ・令和 7 年 10 月頃を予定

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
	・第 1 回 令和 4 年 7 月 27 日（水） ・第 2 回 令和 5 年 1 月 31 日（火） 事業の取組みと課題等について 在宅医療・介護関係者の研修会について 事業業務委託の状況報告 令和 5 年度 会議 3 回 ・第 1 回 令和 5 年 5 月 16 日（火） ・第 2 回 令和 5 年 11 月 7 日（火） ・第 3 回 令和 6 年 3 月 19 日（火）に実施 事業の取組みと課題等について 在宅医療・介護連携推進事業業務委託について 在宅医療・介護関係者の研修会について 身寄りのない高齢者の対応について （事例提供等） 令和 6 年度 会議 3 回 ・第 1 回 令和 6 年 7 月 10 日（水） ・第 2 回 令和 6 年 10 月 22 日（火） ・第 3 回 令和 7 年 3 月 14 日（金） 事業の取組みと課題等について 在宅医療・介護連携推進事業業務委託について 在宅医療・介護関係者の研修会について		
（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制構築推進 ＜地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築に向けて、必要な具体的取組を企画・立案する＞	○南埼玉郡市医師会に一部事業委託し、医療機関と訪問看護ステーションとの連携会議を開催し、体制の構築を図ってきた。 平成 30 年度 ・医療機関・訪問看護ステーション連携会議(11 月) ・医療機関・訪問看護ステーション連携会議(1 月) ・医療機関・訪問看護ステーション合同連携会議(3 月) 令和元年度 ・医療機関・訪問看護ステーション連携会議(8 月) ・医療機関・訪問看護ステーション合同連携会議(12 月) ・急変時の対応についてアンケート調査実施 令和 4 年度 ・南埼玉郡市医師管内における入退院支援ルールの策定への協議を開始する。 ・「訪問診療を受けるには」を作成し、3 市 1 町定例会で報告→令和 5 年度にはホームページにて公開、市役所窓口で配布予定 ・在宅医療介護関係者対象動画コンテンツを作成し、公開している（サポートセンターホームページ参照） ・「医療用麻薬について～総論～」 ・「医療用麻薬について～各論～」 ・「在宅での胃ろう管理」 ・「がん緩和ケアにおける疼痛に評価」 ・「アドバンス・ケア・プランニング」	○入退院支援ルールの策定 ○在宅療養の継続的支援の構築 ・関係機関の連携 ・支援時のルール作り等 ・関係部署への周知および運用方法の説明 ●在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる場面（※別紙） （１）日常の療養支援 （２）入退院支援 （３）急変時の対応 （４）看取り を意識して事業に取り組む必要がある	○南埼玉郡市医師会に一部業務委託し、以下の取組みを行う。 ・南埼玉郡市医師管内における入退院支援ルールの周知・普及啓発 ・在宅医療介護関係者対象動画コンテンツを作成し、公開している（サポートセンターホームページ参照）

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
	・「終末期における輸液」 ・「呼吸困難の緩和ケア」 ○入退院支援ルールの策定に向けて医療機関・訪問看護ステーション、介護関係者（施設・介護支援専門員等）の連携会議を 2 回開催 ・第 1 回令和 4 年 10 月 19 日（水） ・第 2 回令和 5 年 3 月 7 日（火） 令和 5 年度 ○入退院支援ルールの周知・運用状況のアンケート収集・分析 医療・介護関係の 792 事業所にアンケートを実施 ・アンケート実施期間 第 1 回目 令和 5 年 11 月 6 日～令和 5 年 11 月 17 日 第 2 回目 令和 5 年 11 月 20 日～令和 5 年 11 月 27 日 ・アンケート回収率 38.8%（792 事業所中、308 事業所が回答） ・周知方法が課題 ・「訪問診療を受けるには」を作成したので、令和 5 年度には、サポートセンターホームページで公開、市役所窓口で配布した ・在宅医療介護関係者対象動画コンテンツを作成し、公開している（サポートセンターホームページ参照） 上記 7 項目以外に ・「パーキンソン病患者への在宅ケア」 ・「多系統萎縮症の患者への在宅ケア」 ・「筋萎縮性側索症患者への在宅ケア」 ・「認知症患者の在宅ケア」 ・「老衰患者の在宅ケア」 ・「心不全患者への在宅ケア」 ・「慢性呼吸器不全患者への在宅ケア」 ・「在宅における発熱対応」 ・「在宅における肺炎の対応」 令和 6 年度 ・在宅医療介護関係者対象動画コンテンツを作成し、公開している（サポートセンターホームページ参照） 上記 9 項目以外に ・「せん妄の対応」 ・「慢性腎臓病患者への在宅ケア」		

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
（エ） 医療・介護関係者の情報共有の支援 ＜情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備するなど、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援する＞	○南埼玉郡市医師会に一部事業委託し、医療・介護連携ネットワークシステムのメディカルケアステーション（MCS）についての情報提供・周知・普及啓発に通り組んできた。 令和 3 年度 MCS 運用ポリシーの変更（医師に加えてケアマネジャーも、利用手続きを進めることが可能になった） ○関係機関との情報共有手段の検討 ○各種、情報共有シートの作成・周知 平成 29 年度 多職種連携・連絡票 平成 30 年度 在宅医療・介護連携ケアパスシート 令和元年度 在宅医療介護連携個人シート 令和 4 年度・令和 5 年度 ・南埼玉郡市医師管内における入退院支援ルールの策定への協議を開始する。 ・MCS に関連した、運用ポリシーの改訂、情報提供・周知・普及啓発への取り組み ○各種情報共有シートの活用促進及び改善	○入退院支援ルールの周知 ○MCS の利用促進	○上記（ウ）の項目同様、南埼玉郡市医師会に一部業務委託し、以下の取組みを進める。 ・南埼玉郡市医師管内における入退院支援ルールの見通しの適否への協議を開始する。 ・MCS に関連した、運用ポリシーの改訂、情報提供・周知・普及啓発への取組み ○各種情報共有シートの活用促進及び改善
（オ） 在宅医療・介護連携に関する相談支援 ＜在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援＞	○久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町の 3 市 1 町と南埼玉郡市医師会において、在宅医療・介護連携推進事業委託契約を締結し、相談拠点となる在宅医療サポートセンターを設置。 ・久喜市担当 南埼玉郡市医師会内 ・蓮田市、白岡市、宮代町担当 国立病院機構 東埼玉病院内 上記内容で相談支援を実施してきたが令和 3 年 6 月国立病院機構東埼玉病院の拠点閉鎖にともない、同年 7 月～9 月にかけて 1 拠点での運営となる。令和 3 年 10 月、蓮田市・白岡市・宮代町を担当とする相談窓口設置（奏診療所）。 ○在宅医療サポートセンターと地域包括支援センターとの意見交換会の開催 令和 4 年度の相談件数 ・南埼玉郡市医師会サポートセンター（久喜担当）75 件 ・奏診療所（蓮田・白岡・宮代担当）55 件 令和 5 年度の相談件数 ・南埼玉郡市医師会サポートセンター（久喜担当）81 件 ・奏診療所（蓮田・白岡・宮代担当）51 件 令和 6 年度の相談件数 ・南埼玉郡市在宅医療サポートセンター（久喜担当）44 件 ・奏診療所（蓮田・白岡・宮代担当）33 件	○在宅医療サポートセンターの周知、活用促進	○南埼玉郡市医師会と引き続き委託契約し、在宅医療サポートセンターを設置。 ○在宅医療サポートセンターと地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、医療機関との連携を推進。 令和 7 年度の相談件数（令和 7 年 6 月 30 日） ・南埼玉郡市在宅医療サポートセンター（久喜担当）11 件 相談内容としては、本人・親族より医療機関や訪問診療でける医療機関、受診や治療に関することが多い。 ・奏診療所（蓮田・白岡・宮代担当）13 件 相談内容としては、本人・親族、介護関係機関からが多く、訪問診療でける医療機関に関すること、介護保険制度・サービスに関することが多い。 ○在宅医療サポートセンターについて関係機関への周知及び説明の実施
（カ） 在宅医療・介護関係者の研修 ＜地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行う。また、必要に応じて、地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催	○在宅医療・介護関係者研修会 平成 28 年度 ・第 1 回 平成 28 年 10 月 7 日（金）73 名参加 在宅医療と介護連携の現状と課題と解決策 平成 29 年度 ・第 1 回 平成 29 年 10 月 2 日（月）67 名参加	○研修会不参加の関係者に対する情報提供等 市のホームページで公開中 ●コロナ感染症は 5 類になったため、開催数を減らす必要はなくなったが、参加しやすい環境を作るためにも、Zoom 研修も考えていく	●令和 7 年度 研修内容（案） ・床ずれについて（予防と対応）（案） ・訪問栄養食事指導の機能と役割（管理栄養士）

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
等の研修を行う＞	・第 2 回 平成 30 年 1 月 16 日（火）77 名参加 在宅における看取りと多職種における連携 在宅における終末期の対応と多職種連携 平成 30 年度 ・第 1 回 平成 30 年 10 月 5 日（金）78 名参加 ・第 2 回 平成 31 年 1 月 28 日（月）78 名参加 訪問看護利用における多職種連携の方法・手段 入退院時支援における多職種連携について 令和元年度 ・第 1 回 令和元年 9 月 30 日（月）79 名参加 ・第 2 回 令和 2 年 1 月 20 日（月）60 名参加 在宅生活における、医療・介護関係者の連携のポイントについて考える 訪問診療利用時の適切な情報共有について考える 令和 2 年度 ・令和 3 年 3 月に、コロナ禍における医療・介護連携 に関するアンケート調査を実施 令和 3 年度 ・令和 2 年度実施のコロナ禍における医療・介護連携 に関するアンケート調査の結果を久喜市 HP にて公開 令和 4 年度 ・第 1 回 令和 4 年 11 月 9 日（水）56 名参加 ・講演「新型コロナウイルス感染症が起こした在宅 医療と介護の危機！」 ・グループワーク「医療」「服薬」「介護」「生 活」における問題点に対しての対応や解決策 令和 5 年度 ・第 1 回 令和 5 年 7 月 26 日（木）69 名参加 第 1 部 講演 「入退院支援ルールについて」 「最後まで自分らしく暮らし続けるための人生会議 （ACP：アドバンス・ケア・プランニング）を始め よう！～さあ、始めよう！人生会議！～」 第 2 部 グループワーク テーマ 1 「入退院支援ルールをみて、専門職として できることは何か？」 テーマ 2 「人生会議を聞いて、より多くの人に広め るためにはどのような方法があるか、考え てみよう！」 ・第 2 回 令和 6 年 1 月 17 日（水）78 名参加 第 1 部 講演 「後見人制度と身元保証人の違い、意思決定支援の 基本的な考え方」 第 2 部 グループワーク テーマ「身寄りのない高齢者の対応」 ・「身寄りがあるけど、一切やらない（何もしてく れない）」というケース」		・ 居宅療養管理指導（訪問薬剤師からのお話） ・ 生活機能の回復・維持を図る観点からリハビリについて （理学療法士からのお話） ・ 認知症について

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
	・「身寄りが無い（孤独）」というケース 令和 6 年度 ・第 1 回 令和 6 年 8 月 20 日（火）79 名 第1部 講演 「患者の急変時における救急隊との情報共有について」 第2部 グループワーク 「事例から考えてみよう！普段からできること。しておいたほうがよいことなど」 ・第 2 回 令和 7 年 1 月 28 日（火）75 名 第1部 講演 「誤嚥性肺炎と歯科」「口腔機能低下症」 第2部 グループワーク 「事例から考える、課題とその対応。連携に必要なものは何か？」 ★令和 6 年度認知症について市民公開講座 参考：（共催：エーザイ株式会社/バイオジェン・ジャパン株式会社と久喜市後援）市民公開講座が 10 月 20 日に実施された。テーマは「今知りたい『認知症』について～いつまでも元気であるために～」2 部形式 第 1 部 講演 脳健康と向き合う、～MCI や認知症を知ろう～ 講師 東京都健康長寿医療センター副院長 岩田淳先生 第 2 部 講演 認知症疾患医療センターの役割と活用できる社会資源～これからも元気に暮らしていくためのヒント～ 座長 久喜すずのき病院 認知症疾患医療センター副院長 佐藤聡先生 講師 久喜すずのき病院 認知症疾患医療センター精神保健福祉士 出井晴子先生 現地参加者 92 名 Wwb 参加者 40 名 合計 132 名		

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
(キ) 地域住民への普及啓発 ＜在宅医療や介護に関する講演会の開催、パンフレットの作成・配布により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する＞	(過年度の主な取組) ○広報等の掲載 ・市ホームページに事業内容を掲載し、広報くきでも特集記事を掲載 ○久喜市在宅医療・介護連携推進フォーラムの開催 ・平成 29 年 1 月 15 日(日) 菖蒲文化会館 227 名参加 第 1 部 基調講演 「地域包括ケアシステムに向けて在宅医療・介護に求められるものは」 第 2 部 シンポジウム 「超高齢社会を支える久喜市の医療と介護の取り組み」 ○久喜市在宅医療・介護連携講演会の開催 ・令和元年 12 月 22 日(日)久喜総合文化会館小ホール 229 名参加 第 1 部 講演 「もしもの時について考えよう～やってみよう人生会議～」 講師：岸桜氏 さいたま県立がんセンター地域連携・相談支援センター 緩和ケア認定看護師 第 2 部 「人生会議」とは 講師：関谷栄先生 久喜市在宅医療・介護連携推会議 座長 医療法人新井病院院長 DVD「さあ始めよう、人生会議」上映 ○事業委託先の南埼玉郡市医師会において、リーフレット「在宅医療・介護のためのヒント集」作成 ○久喜市エンディングノートの作成、配布 ・令和元年度より官民協働にて作成し、市窓口及び地域包括支援センターで配布 ○社会資源把握支援システム導入 ・社会資源把握支援システム(けあプロ NAVI)を導入。 令和 3 年 12 月より久喜市 HP にて公開(介護事業所から情報公開) ・令和 7 年 3 月 31 日で公開終了 ○ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及の協力(高齢者サロンなど地域に出向いて、事前意思表明書を活用する方法)支援 ・令和 3 年度、令和 4 年度は県の事業として開催予定であったがコロナ感染拡大の防止で中止 ・令和 5 年度は県の事業として 1 回開催(鷺宮団地) ○ACP 普及啓発事業(令和 6 年度から) ACP 普及啓発講座 ・令和 7 年 1 月 2 3 日(木) ふれあいセンター久喜 講師 久喜在宅クリニック 熊懐 真吾先生 参加者 13 名 ・令和 7 年 1 月 2 9 日(水) 青毛小学校 講師 新井病院 関谷 栄先生 参加者 16 名	○広報紙やホームページ以外の手段による住民への周知啓発 ○ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の普及の協力(高齢者サロンなど地域に出向いて、事前意思表明書を活用する方法)支援 ・令和 7 年度は 1 回開催予定	○広報等の掲載 ・市ホームページ及び広報くきに事業についての記事を掲載 ○「在宅医療・介護のためのヒント集」の配布 ・市ホームページにおける周知の他、市内医療機関、歯科医療機関、薬局、介護保険事業所への配布及び、市窓口で配布 ○エンディングノートの作成・配布 ・令和 7 年度も、官民協働にて作成し、市窓口及び地域包括支援センターで配布 ○ACP 普及啓発事業(令和 7 年度) 久喜市ホームページに掲載 「もしものとき」について話し合おう～人生会議～ ACP 普及啓発講座 1 回開催予定

項 目	令和 6 年度までに実施した内容	課 題 等	令和 7 年度の予定
(ク) 二次医療圏内・関係市区町村の連携 ＜複数の関係市区町村が連携して、広域連携が必要な事項について協議する＞	○南埼玉郡市医師会管内の 3 市 1 町で事業連携 ・久喜市及び蓮田市、白岡市、宮代町の在宅医療・介護連携推進事業について協定を締結し、南埼玉郡市医師会に相談支援等の事業を委託（2 拠点）。 ・令和 3 年 6 月国立病院機構東埼玉病院の拠点閉鎖にともない、同年 7 月～9 月にかけて 1 拠点での運営となる。令和 3 年 10 月、蓮田市・白岡市・宮代町を担当とする相談窓口設置（奏診療所）。 (ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築の推進 ○令和 5 年度は、南埼玉郡市医師会管内 医療・介護関係者を対象として「日本地域包括ケア学会『2024 年度同時改定とその後の地域包括ケアシステム構築』録画視聴会」（2 日間）を実施 場所は白岡市生涯学習センター（こもれびの森） ○令和 6 年度も、南埼玉郡市医師会管内 医療・介護関係者を対象として「日本地域包括ケア学会『2040 年に向けて第 2 のスタートを切る』の録画視聴会」（2 日間）を実施 令和 7 年 3 月 12 日（水）、13 日（木） 場所は白岡市生涯学習センター（こもれびの森） (カ)医療・介護関係者の研修 ○令和 6 年度はサポートセンターが主催し、在宅緩和ケアに関する研修会を実施（令和 7 年 2 月 7 日（金））	相談業務のみ 2 拠点になった。	○引き続き 3 市 1 町で連携し、南埼玉郡市医師会に事業の一部を委託して実施。 ・内容(委託内容) (ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築の推進 (エ)医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援 (カ)医療・介護関係者の研修 ○令和 7 年度もサポートセンターが主催し、研修会を実施予定 (キ)地域住民への普及啓発